平成28年度
京田辺市立田辺小学校
学校だより　特別号
平成29年3月10日

済美館

「た・な・べ　っ子」
た・・・たくましいからだと心
な・・・なかよし
べ・・・べんきょう

学校評価　特集号　－ 評価結果の公表-

本校では「一人一人の個性を伸ばし、ひとり立ちできる子どもの育成」を目指して、教育活動に取り組んできました。そして、今年度の教育活動を振り返り、次年度よりよい活動を進めるために、学校評価を行っています。

保護者の皆様にご協力いただいたアンケート、子どもたちが行った「学校生活」についてのアンケート結果を踏まえ、まず、学校教職員が１年間の教育活動を振り返り、自己評価を行いました。

次に、その評価が適切であるか、さらに改善を要する内容はないか、などを学校関係者評価委員の皆様に評価をしていただきました。

学校関係者評価委員の皆様には、１年間を通して、学校のさまざまな行事や授業を参観していただき、教職員とは違う視点で、たくさんのご意見をお聞かせいただきました。

今回、保護者アンケート、児童アンケートの結果及び学校関係者評価委員会で評価していただいた結果をお知らせします。これらの評価の結果を来年度の本校の教育活動の計画に生かしていくこととします。

学校関係者評価委員の皆さま

委 員 長　大崎　　勲様（学校評議員）
副委員長　中村　郁也様（民生児童委員）
委　　員　北尾　高亨様（学校評議員）
野引　政芳様（学校評議員）
久下視紀子様（学校評議員）
木下　敏巳様（学校評議員）
西村　信行様（老人会）
耒田くるみ様（主任児童委員）
橋本　善之様（歴代 PTA 役員）
望月奈津美様（28 年度 PTA 会長）
金野　将則様（28 年度青少協委員長）
興野　千晴様（学生ボランティア）
鷹野　江里様（学生ボランティア）

評価領域	重点目標（観点）	自己評価	学校関係者評価	
1　教育目標と経営方針	(1)「信頼される学校」づくりに努める。	B	・開かれた学校の視点からホームページの定期的な更新など学校の取組がわかるようにしていただきたい。 ・地域と教師との交流がもう少しできればよい。	B
2　授業にかかわって【知】	(1)各教科、道徳、外国語活動、特別活動、総合的な学習の時間及び各学年相互の関連を計り、系統的、発展的な指導を行う。 (2)年間指導計画、単元指導計画、週指導案等に基づき、効果的、計画的な指導を進める。 (3)教育課程実施状況を点検・調整する校内体制を整え、改善・充実を図る。	B	・英語教育を中心に熱心に取り組んでいる様子が伝わってきた。児童たちは、一生懸命かつ楽しく活動することができていたように感じた。 ・道徳、英語をはじめ、どの教科においても教材研究や研修に励んでいただきたい。	B
3　心の教育にかかわって【徳】	(1)教育活動全体を通して、道徳性の育成に努めるとともに、道徳の時間においては児童の心情を豊かにし、判断力や実践意欲と態度の向上を図る。	B	・校舎内の掲示物（いいところさがし）に自己肯定感を育てる取組など、学校全体で道徳性の育成に努める努力がされている。 ・田辺っ子発表会での発表はもちろん、児童の聞く態度や姿勢は、たいへん素晴らしかった。	A
4　児童の活動にかかわって【徳】	(1)異年齢集団を中心として活動し、他学年から刺激を受けることで、高学年の責任感や自尊心を育てる。また低・中学年は高学年の活動に憧れを持ち、その様子を未来の自分の姿に置き換えることで、目標としてがんばりにつながるようにする。	B	・田辺っ子発表会では、高学年の発表に憧れを持った児童も多くいたように思える。 ・６年生を中心に良い手本となる行動が学校全体によい影響を与えている。	A
5　安全にかかわって【体】	(1)安全な生活を営むために身の回りの生活の安全・交通安全・防災に関する安全管理と安全教育を進める。	B	・避難訓練では、どの学年も教師の指示通りきびきび行動することができている。 ・登下校の様子は、みんなしっかりと並んでこれているがあいさつができていない班がある。	B
6　食育・給食にかかわって【体】	(1)学校給食を通じて、心豊かな心情と好ましい人間関係を育成する。 (2)栄養についての正しい知識を身につけ、日常生活における正しい食習慣について考え、健康増進を図る。	B	・地元食材を多く使うなど地産地消が詰まった食育を通して、郷土に対する愛着を育てる食育がされている。（今年度は、「まるごと京都の日」の給食で京田辺の茶を使った料理も行われていた。） ・児童は、楽しくおいしそうに食べている様子が見られた。また、一定の時間になればしっかりと食べきる時間をとるなどの工夫もされていた。	B
7　幼稚園と小学校の連携にかかわって	(1)幼児期の遊びと小学校の学びがスムーズに接続するための取組を進める。	B	・田辺っ子発表会では、園児は、児童の発表や聞く姿勢から、たいへんよい刺激を受けている。 ・３学期に体験入学や体験給食など年長児が来年度に向けた経験をすることにより、小学校に入るにあたっての不安を減らすことができている。	B
8　ＰＴＡ・地域社会との連携について	(1)さまざまな体験学習を通して、児童がたくさんの人と出会い、ふれ合い、学び合い、自分で考えて行動する力を養う。 (2)家庭や地域の教育力の向上を目指す。	B	・ふるさと田辺体験学習やＰＴＡ行事などを通して学校、地域、家庭との連携を密にとることができている。 ・今後も子どもたちをみんなで育てていくという観点から取組を行うようにしていただきたい。	A